

5月10日 RSK体がいい話

ちょっといい話ではないのですが、熊本地震災害の支援に行ってきました。公益社団法人日本栄養士会 日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）のメンバーですので、行ってきました。岡山から4名行ってきました。

保健所を中心とした保健医療圏のうち御船、宇城、阿蘇で活動していきまして、阿蘇には宮崎県栄養士会が中心に活動しています。

広安小学校、保健センター、広安西小学校、御船の河原小学校、西原中学校、体育館や保育園に避難されている方の主に食事について困られていないか食べられているかなどお話を伺い必要であればお粥やスープなどの補助食品を届け、アレルギーのお子さんに必要な食事を届ける等支援物資の中にある食品のコーディネートすることが私の仕事でした。

高齢者の方が配られる冷たいお弁当や硬いものでも我慢されていました。10日、2週間たつうちにやっと暖かいものや柔らかいものが欲しいと言われ始めました。レトルトのお粥などの紹介などもしました。

気温が高くなると食中毒や熱中症の心配があります。

岡山もですが、まさか地震の被害をうけるなど思われていなかったですね。たまにでもいいですから非常食をどう食べるかを体験しておいていただきたいと思います。アレンジして食べやすくすることもできます。衛生的に安全に食べることも必要です。日頃の備えが肝心と思うこの頃です。